

令和6年度(2024年度)用

小学校算数科用

---

---

「新編 新しい算数」  
年間指導計画作成資料  
略案  
【1年】

---

---

令和5年(2023年)5月31日版

※単元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

# 新編 新しい算数 第1学年 年間指導計画案

・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは測定、Dはデータの活用を示しています。

①		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	★くらべたことがあるかな ★おおいのはどちらかな	1	1～2	●幼児期に育った数や量への関心・感覚の想起	幼児期の学 びの想起
		1. なかまづくりと かず	15	3～33	●条件や観点(同じ数)に応じてものの集合をとらえ、2つの集合 の要素を1対に対応させること ●「いち」から「ご」までの数詞の唱え方、数え方 ●1～5の数字の読み方、書き方、数の構成 ●5までの数の物を探し、数の理解を深めること ●「ろく」から「じゅう」までの数詞の唱え方、数え方 ●6～10の数字の読み方、書き方、数の構成 ●ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりするこ と ●具体物や半具体物による5～10の数の合成、分解(1つの数を 他の2つの数の和や差としてみること) ●1～10の数の大小、系列 ●空集合としての0の意味 ●10までの数の系列を多面的にとらえること	A(1)
		2. なんばんめ	2	34～37	●順序や位置を数で表すこと ●10までの集合数と順序数との統一 ●ものの位置の表し方の素地	A(1) B(1)
	★どのようにかわるかな ★しあげよう	1	38～40	●数の構成の関数的な考察 ●10までの数の合成、分解の習熟	A(1) D(1) A(1)	

②		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	3. あわせていくつ ふえるといくつ	8	2～12	●加法の意味(合併、増加) ●和が10以内の加法計算 ●計算カードによる加法計算の練習(1つの数を他の2つの数の 和としてみる) ●0を含む加法計算 ●加法のお話づくり	A(1) (2)
		☆おぼえているかな?	—	13	●既習内容の理解の確認	—
		4. のこりはいくつ ちがいはいくつ	9	14～25	●減法の意味(求残、求補、求差) ●被減数が10以内の減法計算 ●計算カードによる減法計算の練習(1つの数を他の2つの数の 差としてみる) ●0を含む減法計算 ●減法のお話づくり	A(1) (2)
		5. どちらがながい	5	26～31	●長さの概念 ●長さの測定(直接比較、間接比較) ●長さを数値化して表すこと(任意単位の初歩)	C(1)
		6. わかりやすく せいりしよう	3	32～35	●絵や図を用いた数量の表現と読み取り(グラフの素地)	A(1) D(1)
	2 学期	7. 10よりおおきい かず	9	36～47	●20までの数の唱え方、数え方 ●20までの数の読み方、書き方 ●2ずつや5ずつまとめて数えること ●20までの数の構成、系列、大小 ●数構成に基づく加減計算 ●2位数に1位数をたす加法計算(繰り上がりなし) ●2位数から1位数をひく減法計算(繰り下がりなし) ●40までの数の数え方、読み方、書き方	A(1) (2)
		8. なんじなんじはん	1	48～49	●時計の目盛りと長針、短針の機能 ●何時、何時半の読み方	C(2)
		☆おぼえているかな?	—	50	●既習内容の理解の確認	—
		9. 3つのかずの けいさん	3	51～54	●簡単な3つの数の加減計算	A(1) (2)
		10. どちらがおおい	4	55～58	●体積の概念 ●体積の測定(直接比較、間接比較) ●体積を数値化して表すこと(任意単位の初歩)	C(1)

②		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領	
後期		☆おぼえているかな？	—	59	●既習内容の理解の確認 ●10の補数をとらえられるようにするための活動	—	
		11. たしざん	10	60～70	●繰り上がりのある1位数どうしの加法計算 ・被加数が7～9の場合 ・被加数が2～6の場合 ●ノートに思考の過程を表現すること ●計算カードやゲームによる上記の加法計算の練習	A(1)(2)	
		☆おぼえているかな？	—	71	●既習内容の理解の確認	—	
		12. かたちあそび	4	72～75	●直方体、立方体、円柱、球などの立体図形の基礎的概念 ●形や機能に着目した、立体図形の分類 ●立体図形を構成している平面図形の特徴	B(1)	
		13. ひきざん	10	76～85	●繰り下がりのある11～18－1位数の減法計算 ・減数が7～9の場合 ・減数が2～6の場合 ●計算カードやゲームによる上記の減法計算の練習	A(1)(2)	
		★どんないきさんになるのかな？	2	86～87	●加減についての演算決定	A(2)	
		★けいさんびらみっど	2	88～89	●1～2位数の加減法の習熟	A(1)(2)	
		☆おぼえているかな？	—	90	●既習内容の理解の確認	—	
	3 学期		14. おおきいかず	14	91～105	●10ずつまとめて数えることのよさ ●100までの数の唱え方、数え方 ●2位数の位取りの原理、数の構成 ●100までの数の系列、順序、大小 ●数直線上に表された数 ●簡単な3位数(120程度まで数えること) ●簡単な場合の2位数などの加法、減法 ・繰り上がり、繰り下がりのない2位数±1位数の計算 ・何十±何十	A(1)(2)
			15. どちらがひろい	1	106～107	●面積の概念 ●面積の比較(直接比較、陣取りでの数値化による比較)	C(1)
		16. なんじなんぶん	2	108～110	●何時何分の読み方	C(2)	
		★ビルをつくらう	1	111	●数の乗法・除法的構成の初歩	A(1)(2)	
		17. たしざんとひきざん	5	112～119	●順序、順序数に関する加法や減法 ●異種の量について加法や減法が適用できること ●加減の意味の拡張(求大、求小)	A(2)	
		18. かたちづくり	6	120～125	●色板や数え棒、ドットを用いた基本的な平面図形の構成	B(1)	
		★1ねんのふくしゅう	2	126～128	●1学年の学習内容の総復習	A～D	

年間の総時数	2学期制 前期 61 + 後期 59 = 120	予備時数 16 時間
標準時数 <b>136</b> 時間	3学期制 1学期 41 + 2学期 48 + 3学期 31 = 120	